

日時：2015年7月25日（土）15：00～18：00

場所：東洋大学2号館 第1会議室

出席者：浮谷秀一理事長、中村真副理事長、松田浩平、山崎晴美、渡邊芳之、松田英子、小塩真司、家島明彦

事務局：加藤司（事務局長）、太幡直也

委任：二宮克美

日本パーソナリティ心理学会第116回常任理事会議事録

報告事項

I 理事長挨拶

II 各種委員会報告

1 機関誌編集委員会（渡邊委員長）

1. 機関誌編集委員会の開催状況について

(1) 「パーソナリティ研究」第24巻第2号の掲載論文を審議中である。

(2) 「パーソナリティ研究」の編集発行状況について

1) 「パーソナリティ研究」第24巻第1号の発行状況

第24巻第1号は以下の9本（原著7、ショートレポート2）を掲載して、現在印刷中。当初の予定通り7月末の発行を予定。ページ数は93頁。

論文番号	投稿番号	種別	題目	筆頭者
24-1-1	A-355	原著	社交不安症状と対人的自己効力感が大学生のひきこもり親和性に与える影響	新井 博達
24-1-2	A-365	原著	児童期における仲間への信頼信念と学校での孤独感との関連：教師や親への信頼信念との交互作用の観点から	酒井 厚
24-1-3	A-350	原著	日本語版Dark Triad Dirty Dozen (DTDD-J) 作成の試み	田村紋女
24-1-4	A-371	原著	大学生におけるタイプA行動様式および首尾一貫感覚(SOC)が抑うつ傾向に与える効果の検討	嘉瀬 貴祥
24-1-5	A-377	原著	日本人における自尊感情の性差に関するメタ分析	岡田涼
24-1-6	A-372	原著	日本語版Mindful Attention Awareness Scaleの開発および項目反応理論による検討	藤野 正寛
24-1-7	A-341	原著	Leuven Adaptation of the Rumination on Sadness Scale(LARSS)日本語版の作成と信頼性・妥当性の検討	松本 昇
24-1-8	S-283	ショートレポート	人狼ゲーム経験による嘘の手がかり信念の差異—大学生、人狼ゲーム愛好者、人狼ゲーム舞台役者の比較—	丹野宏昭
24-1-9	S-279	ショートレポート	比較的軽度なストレスと解離性体験の関連—ポジティブな対人認知の影響について—	池田 龍也

2) 「パーソナリティ研究」第24巻第2号の編集状況

第24巻第2号の掲載論文は現在常任編集委員会で審議中、以下の13本(原著4, 資料1, ショートレポート8)を掲載する予定。8月上旬に入稿して予定通り11月の発行を予定している。

論文番号	投稿番号	種別	題目	筆頭者	受稿	受理
24-2-1	A-363	原著	恋愛対象者に対する接触回避	河野 和明	2014/6/5	2015/4/6
24-2-2	A-368	原著	大学生における抑うつ傾向の効果的な低減に向けた検討—友人のサポートと生きがい感の観点から—	遠藤伸太郎	2014/7/2	2015/4/26
24-2-3	A-376	原著	自尊感情が主観的幸福感へ及ぼす影響の検討—自己価値の随伴性からの整理	笹川 果央理	2014/9/15	2015/6/14
24-2-4	S-264	原著(種別変更)	大学生におけるTwitter閲覧頻度と同調志向及び自己関連情報の収集に関わる心理特性との関連	澤山郁夫	2014/2/6	2015/6/16
24-2-5	B-85	資料	中学生における基本的心理欲求とスクールモラルとの関連—学校場面における基本的心理欲求充足尺度の作成—	西村 多久磨	2012/11/6	2015/6/14
24-2-6	S-284	ショートレポート	バイタリティー尺度作成の試み—大学生と成人を調査対象として—	福井未来	2014/11/12	2015/4/26
24-2-7	S-276	ショートレポート	大学生運動部員のレジリエンスにおける2過程モデルの検討	上野 雄己	2014/7/27	2015/6/14
24-2-8	S-292	ショートレポート	認知的統制の媒介による行動的対処と抑うつとの関連	川村綾	2015/2/13	2015/6/16
24-2-9	S-289	ショートレポート	過去の経験の想起数と青年期後期の自我同一性の感覚の関連	小島淳広	2015/1/9	2015/6/16
24-2-10	S-285	ショートレポート	擬態語性格尺度短縮版の作成	酒井恵子	2014/11/12	2015/7/7
24-2-11	S-296	ショートレポート	日本語版Short Grit(Grit-S)尺度の作成	西川一二	2015/3/15	2015/7/7
24-2-12	S-302	ショートレポート	日本語版強み認識尺度の信頼性・妥当性の検討	高橋誠	2015/4/15	2015/7/7
24-2-13	S-290	ショートレポート	子どもへの関心尺度の得点と幼児の画像への選好との関連	扇原貴志	2015/2/3	2015/7/7

ショートレポートがのびたので原著とすることが提案され、承認された(S264)。

B85は、資料として旧規程で投稿されたが、学会賞の選考対象となることを考慮して、原著扱いとすることを脚注に記載することが提案され、承認された。

(3) 投稿状況、審査状況について

1) 投稿状況について

昨年8月から7月22日までの投稿状況は下表の通りである。引き続き順調に投稿を得ている状態である。

年	月	原著	ショートレポート	合計	備考
2014	8	4	3	7	
	9	3	3	6	
	10	0	0	0	
	11	3	3	6	
2015	12	0	2	2	
	1	2	2	4	
	2	2	5	7	
	3	3	5	8	
	4	1	4	5	
	5	1	3	4	
	6	6	3	9	
	7	1	2	3	7/22まで
合計		26	35	61	

2) 審査状況について

昨年8月から7月22日までの審査状況は以下のとおりである。

年月	採択	再審査	不採択	投稿取下	備考
2014/8	2	8	2	1	
9	3	6	2	4	
10	1	6	2	0	
11	3	10	2	1	
12	2	4	1	0	
2015/1	3	7	3	0	
2	2	4	2	0	
3	1	6	3	1	
4	3	9	2	0	
5	0	7	0	0	
6	5	10	2	0	
7	4	7	1	0	7/22まで
合計	29	84	22	7	

(4) その他

1) 編集委員の推薦について

第24回大会までに退任する編集委員は9名を予定している（編集委員長，常任編集委員4名，編集委員4名）。

2 経常的研究交流委員会（代理：加藤事務局長）

特になし。

3 広報委員会（家島）

(1) YPP2015

8月20日（木）13:20より

場所「北海道教育大学札幌駅前サテライト」にて開催予定

(2) 委員会企画シンポジウム

大会2日目の8月22日（土）13:00から（現段階では1日目になっているが修正された）

「心理学研究におけるマルチメソッド・アプローチ」と題して開催する

(3) 新規委員について

新規委員候補者が提案され、承認された。

- ・加藤仁（名古屋大学）
- ・佐藤史緒（東洋大学）
- ・仲嶺真（筑波大学）
- ・福沢愛（関西学院大学）

4 国際交流委員会（小塩委員長）

(1) 大会シンポジウム

8月20日（木）にシンポジウムを開催予定

Manalo 氏による講演

(2) 次回大会の招聘講師について

招聘者は検討中

海外からゲストスピーカーを招聘することが承認された。

5 学会活性化委員会（松田英子委員長）

(1) 事業報告および計画

1) 2015 年度 24 回優秀大会発表賞 1 次審査

1 次審査が終了した旨、報告された。

24 回優秀大会発表賞 2 次審査中

7 月中に大会当日（8 月 21 日、22 日）の 2 次審査依頼を理事の先生方に行っている。

6 各種電子化検討小委員会（家島委員）

特になし

7 選挙管理委員会（中村委員長）

(1) 理事・監事選挙および理事長・常任理事選挙

1 理事・監事選挙の結果

有権者	771		
投票数	117		
有効票	116		
無効票	1		
	総有効票数	白票	
理事	565	15	
監事	113	3	

氏名	得票数	理事	備考	氏名	得票数	監事
渡邊芳之	29	当選		岡田努	25	当選
浮谷秀一	18	当選		陶山智	10	当選
加藤司	18	当選		丹野義彦	4	次点 1
内藤まゆみ	18	当選		加藤司	3	理事当選
佐藤達哉	17	当選		二宮克美	3	次点 2
小塩真司	16	当選		坂本真士	3	次点 3
向田久美子	16	当選		以下散票	65	
松田英子	15	当選				
菅原ますみ	15	当選				
尾見康博	14	当選				
松田浩平	13	当選				

藤田主一	13	当選	
手島茂樹	13	当選	
森津太子	12	当選	
山崎晴美	10	当選	
岡田努	8	当選	辞退
有光興記	8	当選	
中村真	8	当選	
堀毛一也	8	当選	
中谷素之	8	当選	
荒川歩	6	次点1	繰上当選
北村英哉	6	次点2	
二宮克美	6	次点3	
太幡直也	6	次点4	
以下散票	264		

(2) 理事長・常任理事選挙の結果

有権者数	20
有効投票数	20

	投票数		投票数	白票
理事長	20	常任理事	127	13

氏名	得票数	理事長	氏名	得票数	常任理事
渡邊芳之	16	当選	中村真	14	当選
堀毛一也	2		加藤司	13	当選
小塩真司	2		松田英子	11	当選
以下散票	0		尾見康博	11	当選
			荒川歩	10	当選
			小塩真司	9	当選
			山崎晴美	7	当選
			藤田主一	7	次点1
			浮谷秀一	7	次点2
			以下散票	38	

8 学会 20 年史編纂委員会（浮谷理事長、渡邊）

渡邊委員より進展状況について説明があった。大会には、実物は間に合わないが、パンフレットの配布が可能である。9月あるいは10月に配布予定。1000冊印刷予定。

総会直前の名簿を用いて、昨年度までの会費を納入している会員と、新入会員、名誉会員に配布することが決定した。

Ⅲ 日本心理学諸学会連合（浮谷理事長）

1 日本心理学諸学会連合について（浮谷理事長）

6月14日13時に定例理事会が開催された

選挙が実施され、子安増生先生が理事長に就任した（任期は2年）

国資格問題について話し合われた

日本心理学諸学会連合に出席するための交通費に関して、理事長より提案がなされ、次回より、常任理事会の出席と同等の金額を支給することになった。

2 心理学検定について（浮谷理事長）

8月23日に実施する予定である

Ⅳ 事務局報告（加藤事務局長）

1 理事会・総会に関する確認事項

別途説明がなされた。

2 前回常任理事会決定事項の確認

常任理事会の回数、国際文献との契約変更について説明がなされた。

Ⅴ 第24回大会準備状況について（渡邊委員）

予約参加者242名、ポスター発表137件であることが報告された。懇親会参加予定者70名などの報告がなされた。

Ⅵ その他

なし。

審議事項

Ⅰ 2014年度決算・2015年度予算の件（山崎財務担当常任理事）

2014年度決算が承認された。2015年度予算が承認された。

Ⅱ 第115回常任理事会議事録および過去の議事録の取り扱いに関する件（加藤事務局長）

第115回常任理事会議事録が承認された。第77回常任理事会議事録が承認された。

いくつかの議事録が発見されたため、常任理事が閲覧した。第70回常任理事会議事録からWebで掲載されることが、第73回常任理事会で決定したため、発見された議事録はWebにUPしないことで承認された。

Ⅲ 新入会員に関する件（加藤事務局長）

1 新入会審査

- (1) ML 承認済み
2 名が追認された
- (2) 審査が必要
5 名が承認された

以上、以上の承認を受けて、7月24日現在、会員総数は910名である（一般会員634名、院生会員258名、学生会員7名、名誉会員10名、賛助会員1名）。

Ⅳ マイページに関する件

理事長からの指示を受け、マイページ変更の可能性について検討した

現在の状況：出力項目は会員名・会員種別・所属機関名

改正した場合：

A 会員の非公開項目は非出力にし、それ以外は出力できるようにする
作業一式 100,000円および業務管理費10,000円 税別

B 管理者だけが無条件に出力対象項目を出力できるようにする
作業一式 100,000円および業務管理費10,000円 税別

A案は必要なのは（理事長）。A案を実施することにした。

Ⅴ その他

なし